

安心・安全な地域公共交通を守る請願書

《請願趣旨》

現在、第二種運転免許を必要としないライドシェアを解禁しようとする議論が日本で起きています。オーバーツーリズム（観光公害）による一部の観光地や地域でのタクシー不足を理由としていますが、ライドシェアは利用者に危害をおよぼす輸送方法です。

ライドシェアを導入した諸外国では性犯罪や暴行、交通事故などが多発したことから、約8割の国で規制強化や運行禁止とされているのが今の世界の情勢です。外務省は現在も「営業許可を受けない白タクには絶対に乗らないように」と渡航者に注意喚起をし続けています。

安心・安全な地域公共交通としてのタクシーを守っていくことは、利用者保護や利便性の向上につながります。国の責務として地域公共交通を維持する補助金を増額し、深夜でも障がい者や高齢者などの交通弱者が安心して利用できる制度を設けることは、世界から評価されている日本のタクシーを持続可能なものとするために重要です。

危険なライドシェア導入に道を開くことのないよう、下記の事項について請願します。

《請願項目》

1. 利用者に危害がおよぶライドシェアを解禁しないこと。
2. 道路運送法第78条（自家用有償旅客運送）を無限定に緩和しないこと。
3. 第二種運転免許を緩和、廃止しないこと。
4. 地域公共交通を維持するため、乗合タクシー・デマンド交通などの補助金を大幅に増やすこと。
5. 障がい者、高齢者、妊産婦などの交通弱者がタクシーを利用しやすい制度を国の責任で設けること。

以上

（住所は都道府県から番地まで省略せず、正確に記入してください）

氏 名	住 所
	都道 府県

※この署名は国会に提出します。ご記入いただいた個人情報、この請願目的以外には使用いたしません。